

## ペ ル ー

2021年8月27日  
海外調査部・リマ事務所

2020年の経済は新型コロナウイルス感染症による経済活動の厳格な規制とその対策経費により内外需とも大幅に後退し、実質GDP成長率はマイナス11.1%と22年ぶりのマイナス成長を記録した。貿易面も新型コロナによる世界経済悪化の煽りを受けて輸出入とも前年比減となったが、年後半には銅価の高騰と農産品を中心とした非伝統輸出品が下支えしたため、貿易黒字幅は前年より拡大した。対内直接投資はパンデミックに加えて内政不安の影響により、サービス産業を筆頭に軒並み減少した。

**■輸出は農産物が下支え、輸入はマスクが大幅増**

2020年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比14.8%減の393億1,100万ドル、輸入は14.8%減の361億1,300万ドルとなった。貿易収支は、14.4%減の31億9,800万ドルの黒字となった。国・地域別では、新型コロナ禍においても依然として中国が輸出入のいずれも首位となり（構成比は輸出で28.3%、輸入で28.5%）、2位の米国（16.0%、18.4%）、次いでEU28（ペルーの統計上、英国はEUに含まれているためEU28、13.6%、11.0%）と、上位3地域はいずれも前年同様となっている。

輸出を品目別にみると、銅（構成比28.6%）と金（16.7%）を中心とした鉱物資源などの伝統産品が66.9%を占めているが、新型コロナ禍における経済活動の規制により銅は19.5%減、金は3.3%減、亜鉛は31.6%減といずれも前年比減少した。また、魚粉や魚油などの水産品の伝統産品も、年度前半の漁業活動の規制などにより、主要輸出先である中国向けが魚粉、魚油とも1～2割弱減少した。一方で、2020年の輸出を下支えしたのが果物類を中心とした農産物などの非伝統輸出品だ。果物類は、生鮮ぶどうが19.9%、生鮮ブルーベリーが22.6%増だった。主な輸出先は米国で、ぶどう、ブルーベリーのほか、ミカンやマンゴーも大幅に増加した。

輸入は、国内需要の落ち込みにより、産業機械（前年比17.8%減）、機械類全般（15.8%減）、送信通信機器（12.8%減）、乗用車（35.1%減）、トラック・バス・バンなど（33.6%減）などが軒並み減少した。一方で、テレワークや教育機関などにおけるリモート授業の導入により、パソコンとその周辺機器などの輸入は70.1%増の6億7,700万ドルを記録した。また、非耐久消費財では麦（11.5%増）、コメ（11.5%増）、砂糖（61.8%増）、乳製品（23.2%増）、肉類（2.2%増）など食品類が伸びた。その他、マスクの輸入が64.5倍の3億8,700万ドルで、その多くが中国（構成比92.5%）と米国（2.1%）からとなっている。ロックダウンが開始された当初から操業が許されている農業分野においても、トラクターや果実洗浄選別機などの輸入が増加し、農業用資本財の輸入が1.7%増加した。同じく有機肥料の大豆油カス、飼料添加物、殺虫剤など農畜産業関連原料や中間財も5.4%増加し、新型コロナ禍においても農畜産業は平時と変わらず生産活動が続いていたことを裏付けた。

**表1 ペルーの主要品目別輸出入<通関ベース>**  
(単位:100万ドル、%)

	2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	46,132	39,311	100.0	△ 14.8
伝統産品	32,177	26,310	66.9	△ 18.2
銅 (地金・精鉱)	13,948	11,231	28.6	△ 19.5
金	6,796	6,575	16.7	△ 3.3
亜鉛 (地金・精鉱)	2,105	1,441	3.7	△ 31.6
魚粉	1,509	1,180	3.0	△ 21.8
鉛 (地金・精鉱)	988	851	2.2	△ 13.8
石油派生製品	2,230	680	1.7	△ 69.5
コーヒー	637	649	1.7	1.9
天然ガス	623	532	1.4	△ 14.7
原油	420	367	0.9	△ 12.7
非伝統産品	13,811	12,891	32.8	△ 6.7
農産品・加工食品	6,302	6,817	17.3	8.2
果実	3,534	3,986	10.1	12.8
生鮮ぶどう	878	1,052	2.7	19.9
生鮮ブルーベリー	815	999	2.5	22.6
生鮮・乾燥アボカド	757	758	1.9	0.1
野菜	1,156	1,192	3.2	3.1
生鮮アスパラガス	400	387	1.0	△ 3.3
化学品	1,602	1,558	4.0	△ 2.8
繊維製品	1,354	1,024	2.6	△ 24.4
水産品	1,614	1,321	3.4	△ 18.2
冷凍赤イカ (ボタ)	579	416	1.1	△ 28.2
調製し又は保存に適する処理をしたイカ	262	186	0.5	△ 28.8
金属製品	1,191	855	2.2	△ 28.2
含有量が全重量の99.99%未満の亜鉛	260	183	0.5	△ 29.9
鋼線	178	179	0.5	0.6
非鉄金属	605	446	1.1	△ 26.3
機械	572	462	1.2	△ 19.2
木材・紙	321	240	0.6	△ 25.5
その他	143	110	0.3	△ 23.5
輸入総額 (CIF)	42,395	36,113	100.0	△ 14.8
原材料・中間財	19,930	16,231	44.9	△ 18.6
工業用	12,410	11,305	31.3	△ 8.9
燃料・潤滑油	5,940	3,259	9.0	△ 45.1
農業用	1,581	1,667	4.6	5.4
資本財	12,802	10,963	30.4	△ 14.4
工業用	8,061	7,390	20.5	△ 8.3
輸送機器	3,145	2,203	6.1	△ 30.0
建築資材	1,438	1,209	3.3	△ 15.9
農業用	158	161	0.4	1.7
消費財	9,656	8,909	24.7	△ 7.7
非耐久消費財	5,494	5,644	15.6	2.7
耐久消費財	4,162	3,265	9.0	△ 21.6
その他	7	11	0.0	48.5

[出所] 国家税務監督庁 (SUNAT) および輸出業協会

**表2 ペルーの主要国・地域別輸出入<通関ベース>**  
(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
米国	5,709	6.302	16.0	10.4	8,789	6.643	18.4	△ 24.4
カナダ	2,408	2.399	6.1	△ 0.4	678	7.96	2.2	17.4
メキシコ	475	4.27	1.1	△ 10.0	1,851	1.513	4.2	△ 18.3
EU28	6,169	5.348	13.6	△ 13.3	4,745	3.975	11.0	△ 16.2
オランダ	1,434	1.432	3.6	△ 0.2	245	1.69	0.5	△ 31.1
スペイン	1,206	1.102	2.8	△ 8.6	890	6.70	1.9	△ 24.8
ドイツ	1,034	7.92	2.0	△ 23.4	1,133	1.008	2.8	△ 11.0
イタリア	611	4.92	1.3	△ 19.5	738	5.56	1.5	△ 24.6
スイス	2,266	1.374	3.5	△ 39.4	171	1.35	0.4	△ 21.3
アンデス共同体	2,295	1.909	4.9	△ 16.8	3,041	1.953	5.4	△ 35.8
コロンビア	791	6.78	1.7	△ 14.3	1,333	9.80	2.7	△ 26.5
エクアドル	796	6.54	1.7	△ 17.8	1,281	4.47	1.2	△ 65.1
ボリビア	707	5.42	1.4	△ 23.4	427	5.26	1.5	23.2
チリ	1,303	1.071	2.7	△ 17.8	1,339	1.076	3.0	△ 19.6
メルコスール	1,635	9.00	2.3	△ 45.0	4,506	3.905	10.8	△ 13.3
ブラジル	1,442	7.60	1.9	△ 47.3	2,430	1.982	5.5	△ 18.4
アルゼンチン	138	1.11	0.3	△ 19.6	1,770	1.665	4.6	△ 5.9
その他	23,872	19,580	49.8	△ 18.0	17,276	16,117	44.6	△ 6.7
中国	13,546	11,115	28.3	△ 17.9	10,265	10,310	28.5	0.4
韓国	2,278	2,288	5.8	0.5	962	6.51	1.8	△ 32.3
日本	1,975	1,780	4.5	△ 9.9	1,069	7.27	2.0	△ 32.0
インド	1,787	1,101	2.8	△ 38.4	880	8.22	2.3	△ 6.6
合計	46,132	39,311	100.0	△ 14.8	42,395	36,113	100.0	△ 14.8

[注] ①アンデス共同体: ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー、メルコスール: ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ、ベネズエラ  
②ペルーの統計上、英国はEUに含まれているため、EU28とする。  
[出所] 国家税務監督庁 (SUNAT)

2021年第1四半期は輸出は魚粉や魚油の伝統産品が回復し、また非伝統産品の農産品や水産品も好調で、前年同期比で12.6%増加した。輸入も国内需要の回復を反映して19.0%増加している。

### ■炭化水素分野の投資が大幅増

2020年の対内直接投資 (国際収支ベース) は、パンデミックに加えて内政不安が影響し、前年比87.8%減

の9億8,200万ドルと大幅に減少した。ほぼ全ての分野での投資が滞り中、炭化水素分野は、スペインのレプソルガラ・パンピージャ製油所の近代化工事のほか、石油分野での2,500万ドルの投資を行うなどしたため、前年比18.5倍を記録した。

鉱業分野においては、エネルギー鉱山省の2020年の年鑑によると、同年における投資ランキングにおいて三菱商事が参加する2022年に生産開始予定のケジャベコ銅鉱山計画が13億1,379万ドルで前年に続き首位に立っている。次いでチリとペルーの合弁会社であるマルコブレが開発しているミナフスタ銅鉱山計画が4億9,732万ドルで続く。なお、鉱業の多くは感染予防の観点から3~4月にかけては設備の維持など最低限の活動のみが許され、本格的な生産活動再開は7月以降であったため、スズやモリブデンを除いて鉱物資源の多くは生産量が減少している。

金融分野では、2019年からペ

**表3 ペルーの業種別対内直接投資<国際収支ベース、ネット・フロー>**  
(単位:100万ドル、%)

	2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率
炭化水素	4	74	7.5	1,750.0
鉱業	2,392	970	98.8	△ 59.4
金融	1,097	99	10.1	△ 91.0
サービス (非金融)	2,248	△ 627	△ 63.8	△ 127.9
製造業	521	215	21.9	△ 58.7
エネルギー・その他	1,794	251	25.6	△ 86.0
合計	8,055	982	100.0	△ 87.8

[出所] ペルー中央準備銀行

ルーでの営業許可を申請していた中国銀行が2020年4月にペルー銀行保険年金監督庁 (SBS) の認可を受け、8,000万ドルの初期投資で活動を開始している。今後、2013年に設立された中国工商銀行 (ICBC Bank) と共に両国取引の活性化に寄与するものと考えられる。

表4 ペルーの対内直接投資案件

(単位: 100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
鉱業	アングロ・アメリカン 三菱商事	英国 / 日本	2020年12月	1,314	ケジャベコ銅鉱山は世界5大銅鉱床の一つであり、現在建設過程にあり、2022年に生産開始を予定している。現時点でペルー最大の鉱山投資計画となっている。
鉱業	マルコブレ (Marcobre)	ペルー / チリ	2020年12月	497	16年間のマインライフで10万トン銅精鉱と5万8,000トンの銅カソードの生産販売量を見込んでいる。
インフラ	メトロリマ第2号線コンセッション	イタリア / スペイン / ペルー	2020年12月	243	2024年に全線開通を予定しているペルー初の地下鉄。全長27キロ (リマ国際空港までのアネックスを含めると35キロ) で27駅を予定しており、2020年末で全体の34.7%の進捗状況にある。
サービス (金融)	中国銀行 (Bank of China)	中国	2020年7月	80	2020年7月にペルー銀行保険年金監督庁 (SBS) からの営業許可を受ける。主にペルーにおける中国企業、または中国と取引のあるペルー企業など法人営業を中心に活動する。
エネルギー	ISA Peru	コロンビア	2020年8月	159	6つの送電線 (総長764キロ) を有するペルー資本の配電会社オラスル・エナジー・グループ買収を発表。
小売り	モールプラザ (Mallplaza)	チリ	2020年9月	80	ペルーの首都リマ市のコマス地区における国内4カ所目となるショッピングセンターの開設を発表。
製造業	ハイネケン (Heineken N.V.)	オランダ	2020年9月	50	ペルー資本の大手飲料会社のAJEグループのビールブランド「トレス・クルセス」を買収すると同時に、国内におけるハイネケンブランドの販売流通を担うことになる。
エネルギー	エネル・グリーン (Enel Green)	イタリア	2020年12月	148	イカ州のナスカ市において108メガワットにおよぶ風力発電所の開発を行う。
インフラ	ヒューズ (Hughes Peru)	米国	2021年1月	120	ペルー全土の95%をカバーする衛星インターネットサービスの提供。北部トゥンベス州ならびにロレート州も含む。
エネルギー	ベルアーナ・デ・インベシオネス・エン・エネルヒア・レノバブレス (Peruana de Inversiones en Energia Revovables)	スペイン	2021年1月	44	アンカッシュ州における20MWにおよぶマンタ水力発電所の建設投資。
インフラ	パラカス港湾ターミナル	スペイン / ブラジル	2021年2月	250	パラカス港における700メートルにおよぶ新ドックの建設のほか、荷積み、荷下ろしヤードとバラ積み貨物倉庫の完成工事。

[注] 時期は発表または報道された月  
[出所] 各社発表および報道などから作成

## ■対日貿易は減少も、新たな需要でビジネスチャンスも

2020年の対日往復貿易額は前年の30億4,700万ドルから大きく後退し、15.4%減の25億7,800万ドルとなった。輸出額は、6.4%減の18億5,000万ドルで、品目別では伝統産品と非伝統産品のいずれも前年比減で振るわなかった。前者では、輸出全体の6割を占める銅が国際価格の高騰も重なり13.6%増の11億1,700万ドルを記録した。一方で亜鉛 (38.0%減)、鉛 (29.4%減) のほか魚粉 (42.6%減) や魚油 (30.6%減) はいずれも減少した。一方、非伝統産品の農産品・加工食品は9.2%増で大きく伸びている。特に生鮮アボカドは64.7%増と大きく伸び、その他にもアスパラガスの加工品が28.9%増で、ミックス野菜は2.5倍を記録した。また、水産品でもマスのフィレが2.2倍となったが、冷凍赤イカ (ペルー名: ポタ) は2020年3月中旬~6月初旬にかけて全国的なロックダウンが実施された際に操業ならびに生産が停止したことが大きく影響し、9.4%減少した。

対日輸入については、パンデミックによる内需の減退の煽りを受け前年比32.0%減の7億2,800万ドルとなった。特に自動車および同部品は39.9%減と大きく落ち込んだ。日本車のシェアが最も大きい自動車市場だが、ペルー自動車協会によると、内需不振と店頭販売制限のため、新車販売台数は25.8%減の12万5,090台にとどまった。店舗での販売が可能となった6月以降は、日系メーカー各社ともに店頭販売に加えてオンライン販売サービスの充実を図るなど第3~4四半期にかけてマイナス幅の縮小に努めた。一方で、ホンダが現地生産を行う自動二輪車分野においては、操業停止期を経た需

要の反動増に加えて、失業者などの二輪でのデリバリーサービス事業への参入、感染予防を考慮した通勤手段としての選択肢などの新しい需要により、新車販売台数は16.2%増の19万4,407台に上った。

小売市場においては、ペルーで均一価格ショップを展開する日本のワッツによると、2020年上半期は3～6月にかけて店舗の一時閉鎖を余儀なくされたが、7月以降の下半期は新型コロナ禍で空きが出た好立地テナントへの新店舗開設による売上増や、消費者の抑制された消費意欲の反動も手伝い、黒字を維持できたという。一方で、アジアからのコンテナ不足などにより輸送コストの高騰や、国内の政治不信によって急激に進んだドル高により販売価格の値上げに踏み切る日系企業も多く見られた。

表5 ペルーの対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	1,976	1,850	100.0	△ 6.4
伝統産品	1,785	1,678	90.7	△ 6.0
銅 (地金・精鉱)	984	1,117	60.4	13.6
亜鉛 (地金・精鉱)	192	119	6.4	△ 38.0
鉛 (地金・精鉱)	32	23	1.2	△ 29.4
天然ガス	108	107	5.8	△ 1.1
原油・同派生製品	217	120	6.5	△ 44.9
魚粉	114	65	3.5	△ 42.6
魚油	15	11	0.6	△ 30.6
コーヒー	14	14	0.7	0.2
非伝統産品	191	172	9.3	△ 9.9
農産品・加工食品	68	75	4.0	9.2
果実	36	43	2.3	17.7
生鮮アボカド	12	20	1.1	64.7
冷凍フルーツ	8	8	0.4	△ 8.1
冷凍マンゴー	6	5	0.3	△ 22.9
生鮮バナナ	4	4	0.2	1.9
生鮮マンゴー	2	2	0.1	△ 14.0
野菜	18	17	0.9	△ 3.3
冷凍アスパラガス	14	13	0.7	△ 9.3
アスパラガス加工品	1	2	0.1	28.9
ミックス野菜	0	1	0.0	145.2
水産品	92	74	4.0	△ 19.4
冷凍赤イカ (ボタ)	24	21	1.2	△ 9.4
赤イカ (ボタ) 加工品	19	13	0.7	△ 34.1
マスのフィレ	5	11	0.6	122.1
とびこ	12	11	0.6	△ 9.8
亜鉛 (合金を除く)	9	7	0.4	△ 22.2
衣類	10	9	0.5	△ 13.5
化学品	3	2	0.1	△ 14.2
植物性・動物性着色料	2	1	0.1	△ 31.3
繊維	3	1	0.1	△ 49.3
輸入総額 (CIF)	1,071	728	100.0	△ 32.0
自動車および同部品	401	241	33.1	△ 39.9
乗用車	216	111	15.3	△ 48.4
商用車・トラック	91	80	11.0	△ 12.0
バス (10人以上乗り)	50	20	2.8	△ 59.3
機械類および同部品	220	152	20.9	△ 30.9
印刷機・プリンター・複写機	33	21	2.9	△ 35.7
ショベルカー	15	12	1.7	△ 18.8
ブルドーザー・地ならし機	25	12	1.7	△ 52.0
電気製品および同部品	24	19	2.6	△ 22.1
電話機器	2	2	0.3	△ 4.3
デジタルカメラ・ビデオカメラ	2	2	0.2	△ 18.1
電動機及び発電機 (原動機とセットにした発電機を除く。)	1	2	0.2	22.7
その他機械類	26	26	3.6	0.7
X線機器	5	11	1.5	111.5
化学分析用機器	11	7	0.9	△ 40.0
化学品	157	126	17.4	△ 19.4
タイヤ (新品に限る)	105	79	10.9	△ 24.3
鉄鋼・鉄鋼製品	106	101	13.9	△ 4.8
鉄フラットロール (めっきしたもの)	52	40	5.5	△ 22.9
セメント (クリンカー)	4	2	0.3	△ 46.9
その他	132	60	8.3	△ 54.3

[出所] 輸出入協会 (ADEX) の通関統計を基に作成

## 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：3,263万人（2020年）			
②面積：128万5,216km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：6,084米ドル （2020年）			
④実質GDP成長率（%）	4.0	2.2	△ 11.1
⑤消費者物価上昇率（%）	2.2	1.9	2.0
⑥失業率（%）	3.9	3.9	7.4
⑦貿易収支（100万米ドル）	4,873	4,059	4,604
⑧経常収支（100万米ドル）	△ 3,915	△ 2,657	1,504
⑨外貨準備高（100万米ドル）	60,121	68,316	74,707
⑩対外債務残高（100万米ドル）	78,170	80,200	88,768
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ソル、期中平均）	3.29	3.34	3.50

〔注〕 ⑥全国都市部の失業率  
 〔出所〕 ①②：ペルー情報統計院（INEI）、③IMF、④⑤⑧～⑪：ペルー中央銀行「Nota Semanal」、⑥ペルー中央銀行「Memoria Anual」、⑦国家税務監督庁（SUNAT）

（お問い合わせ先）

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp